

本質的な問い 平和のために、自分たちができることは何だろう。

単元名 広げよう 平和の輪 ～平和を永遠に～

児童生徒の実態

- ・ 平和に関心がある 86%、平和について調べたことがある 88%
- ・ 複数の資料や、データから情報を読み取り、それらを活用して自分の考えをまとめている 88.9%
- ・ 地域や社会をよくするために何をすべきか考える 88.9%

【総合的な学習の時間に係る児童生徒アンケート（4月実施）より】

目指す具体の姿（育成を目指す資質・能力）

- ・ 多様な方法で情報を収集し、確かな情報を集めることができる。（情報収集力）
- ・ 平和について、客観的・多面的に情報を整理し、情報どうしの関係を見出して説明することができる。（情報活用力、批判的思考力）
- ・ 自分自身を理解し、他者の考え等を受け入れ尊重しながら、地域や社会をよくしようとする。（協調性、挑戦心）

単元を貫く問い 平和のために何が必要か
【探究課題 戦争の悲惨さ、平和の大切さと、これから生きる自分たちにできること】

【第3次】（15時間） 課題 自分たちにできることは何だろう。

個別の問い

- ・ 平和の願いを伝えるエスキーテニスを体験してみよう。
- ・ エスキーテニスの起源は何だろうか。
- ・ エスキーテニスを作った人たちの思いを考えよう。
- ・ エスキーテニスのように戦争後からできた活動や取組が他にもあるのだろうか。
- ・ 自分たちにできることは何だろう。企画を考えよう。（平和ウィーク）
- ・ 「平和ウィーク」は、誰に、どのような目的、内容、手段で行うとよいだろう。
- ・ これらの学びを踏まえて、これから生きていく中で大切にしたいことは何だろう。

エスキーテニスの体験

広島県エスキーテニス連盟

インターネット

（しかけ）

- ・ エスキーテニスの体験から、身近なところにもそのような活動があることを知り、新たな視点で自分たちにできることを考えるようにする。また、日ごろから身近な平和を考えるきっかけとし、改めて日ごろの言動を振り返るようにする。

【第2次】（32時間） 課題 語り継いでいくためにはどうする。

個別の問い

- ・ 家族と戦争の話をしたことがあるか。
- ・ どんな思いで、平和を語り継いでいるのだろうか。
- ・ 平和を語り継いでいくためには、どんな課題があるだろう。
- ・ みんなに知ってもらうには、どうすればよいだろう。
- ・ 平和を語り継いでいくためには、どんな取組があるのだろうか。
- ・ 見学に行く際、どのようなことが必要だろう。どのような視点で見学をするとよいだろう。
- ・ 平和を語り継いでいくためには、どのようなことを大切にするとよいのだろうか。
- ・ 自分たちにできることは何だろう。
- ・ 平和集会（文化祭）では、誰に、どのような目的、内容、手段で発信するとよいだろう。

被爆体験伝承者等の派遣事業の活用

天応学園でアンケート

原爆ドーム、資料館、平和公園の見学

インターネット

（しかけ）

- ・ 第1次で伝承者の話を聞き、第2次では思いを深めるために、平和を伝えている施設へ見学に行く。
- ・ 国語科での平和単元を並行して行い、理解が深まるようにする。
- ・ 伝承者の話を聞いて、文字では伝わらない部分を感じ取れるようにする。

【第1次】（23時間） 課題 戦争・平和について知ろう。

個別の問い

- ・ 5年生の最後の振り返りでなぜ「平和」が気になったのだろう。
- ・ 戦争の反対は何だろう。（平和以外で）
- ・ みんなの思う「平和」とは何だろう。（平和観）
- ・ 調べるならどんな方法があるだろう。
- ・ 戦争、平和と言ったら何が思い浮かぶだろう。
- ・ ここまでの学習を踏まえて、自分なりの「平和観」について伝えよう。

本、新聞、ニュース等

インターネット

地域の人にインタビュー

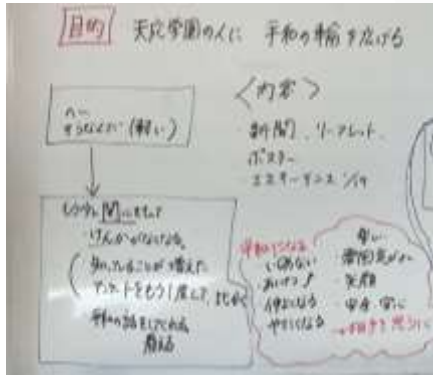
広島市の平和ノートの活用

（しかけ）

- ・ 新聞や日常の出来事を想起したり、家族にインタビューしたりすることで自分事として考えられるようにする。
- ・ 平和ノートを活用して、基本的な内容を理解できるようにする。

3サイクル 「自分たちができることは何だろう。」

【課題の設定】
 ・天応学園の人が自分事として平和について考えられるようにするにはどうするとよいだろう。



【まとめ・表現】
 ・活動を振り返る。
 ・これらの学びを踏まえて、これから生きていく中で大切にしたいことは何だろう。

・エスキーツェニス体験では、どの学年もしっかり聞いてくれてうれしかった。
 ・平和イベントについて、どうだったかを聞くと、「千羽鶴をまた作りたい。」「平和をもっと広げていきたい。」と言われてうれしかった。
 ・これからも平和について考えて、身近な人にも広めていきたい。
 ・平和のために、相手を思いやることを意識して行動していきたい。

【情報の収集】
 ・エスキーツェニス連盟の方から話を聞いたり、エスキーツェニス体験をしたりする。



・平和と楽しさが一緒に味わえて、関心が持ちやすかった。



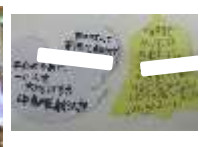
・平和のために作られたと聞いて、エスキーツェニスを今の世代だけで終わらないよう伝えていきたい。

自分たちができることは何だろう

協働 挑戦 発信

【整理・分析】
 ・エスキーツェニス体験、自分たちの調べた内容の発表等、平和イベントを計画、実行する。
 ・平和についてのアンケートを再度行い比較する。

【平和イベント内容】
 ・作成したものの発表
 ・エスキーツェニス体験
 ・イベント後に今平和について思うことを書いてもらい、展示する。



2サイクル 「語り継いでいくためにはどうする。」

【課題の設定】
 ・私たちが知るだけでよいのだろうか。
 ・どれぐらいの人が平和について知っているのだろうか。
 ・語り継いでいくためにはどうしたらよいのだろうか。

・資料館では、どんなことに気を付けて見学するとよいか。
 ・語り継ぐために工夫しているところや、大切にしているものは何かな。

【まとめ・表現】
 ・1サイクルで作成したものをブラッシュアップする。



まずは、天応学園でつらい苦しい思いをしている人がいたら、私たちが平和にしていきたい。

「今までのことがあったから今の平和がある」
 しかし、このままでは消えていく

語り継いでいくために… 体験 試行錯誤

【情報の収集】
 ・平和記念公園・資料館で調べる。
 ・伝承者の方のお話を聞く。
 ・千羽鶴プロジェクトを企画・実行



みんなしっかり聞いてくれて一生懸命折ってくれてうれしかった。

話を聞いて、そっとした。天応学園にもその恐ろしさを知らない人がいるので伝えていきたい。



今回の見学で、もっと戦争の恐ろしさや平和の大切さが分かった。平和は暮らしに必要なことだと思った。

【整理・分析】
 ・1サイクルで調べたことと関連付ける。
 ・語り継ぐために必要なことという視点で見学する。
 聞いた話から伝えるべきことを整理、分析する。

1サイクル 「戦争・平和について知ろう。」

【課題の設定】
 ・平和とは何だろう。
 ・自分たちはどんなことを知りたいのだろう。

平和とは？
 ・戦争や争いが無い穏やかな世界
 ・人が人に憎しみをもたないこと
 ・誰もが幸せに生きることができること

改めて考えると難しく、一番に思いついたのが「戦争」で、それ以外は思いつきませんでした。だからこれから平和について学んでいきたい。



課題の設定

どんなことが起こったのだろう

【情報の収集】
 ・知りたいことごとにグループ分けし、新聞、本、インターネットなどから調べる。
 ・天応学園の人にアンケートを行い、意識調査をする。

被爆者の気持ちや思いを伝えていきたいと思った。原爆ドーム等、戦争の時にあったものを実際に見に行ってみたい。

核兵器はいろいろなものを奪っていったことを知り、とてもひどいと思った。

まとめ・表現

情報の収集



【まとめ・表現】
 ・戦争の被害、平和への復興、平和記念公園、被爆者の思い、核兵器の5つのグループでそれぞれまとめる。
 ・新聞、リーフレット等の形式でまとめ、発表する。

昔に起きた出来事だとしても、戦争で被害を受けた人の事実は変わらない。だからもっと広めた方がよいと思った。

戦争・平和について知ろう

整理・分析

【整理・分析】
 ・それぞれ調べたことの中間発表を行い、足りない所や分かりにくい所の確認をする。
 ・「誰に、何のために伝えるのか」「どのようになってほしいのか」を改めて考える。

・学校中の人々が、関心をもってほしい。平和になってほしい。
 ・天応学園みんなと、平和の意味を知って平和の輪を広げていきたい。
 ⇒単元名決定